

# 生涯を通じて健康で いきいきと過ごせるまち



いーわく  
岩倉市 PR 大使

ライフ ステージ	妊娠期・乳幼児期	学齢期	成人期	高齢期
健康づくり の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 心と体の健康な生活習慣の基礎づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校と家庭の協働による心と体の健康な生活習慣づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康的な生活習慣の確立</li> <li>● 健康の自己管理能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活の質の向上</li> <li>● 生きがいづくり</li> </ul>
今後必要な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● よい生活習慣獲得のための保健教育の推進</li> <li>● 母子保健事業を通じた子育て支援の充実</li> <li>● 地域全体で子育て支援を応援する取り組みの推進</li> <li>● 事故防止対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携強化</li> <li>● 地域保健と学校保健の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活習慣改善による疾病の重症化予防の推進</li> <li>● ライフスタイルに応じた健康的な生活習慣確立の支援</li> <li>● 地域社会への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生活習慣改善による疾病の重症化予防の推進</li> <li>● 地域社会参加の促進</li> <li>● 世代間・地域間の協調と交流の促進</li> <li>● 介護・認知症予防の推進</li> </ul>
健康を支える 社会環境	<div style="text-align: center;">学校保健(保育園・幼稚園含む)</div>		<div style="text-align: center;">介護予防・高齢者対策</div>	
	<div style="text-align: center;">母子保健</div>		<div style="text-align: center;">成人保健</div>	
	<div style="text-align: center;">家庭・地域</div>		<div style="text-align: center;">職 域</div>	

# ヘルスプロモーション

WHOオタワ憲章（1986）

健康づくりの主役は人々や地域

人々や地域自らが、健康とその決定要因をコントロールし、改善する

エンパワーメント：行動を変える力

健康づくりに必要な個人の知識・判断力・技術の強化

ボランティア・専門家（保健推進員、食生活改善推進員、健幸伝道師）の働きかけ、教室など地域の住民活動の活性化や健康教育等により行う



健幸づくり推進条例

健康  
状態

坂道を緩やかにする環境・制度づくり

1. 健康的な公共政策

2. 健康を支援する環境づくり

すべての環境（自然・家庭・職場・学

校・地域）でハード（施設・資源など）

とソフト（法律や条例・制度など）両面

から健康づくりを支援

幸福  
QOL

目的  
Goal

①歩道、自転車道、街灯・防犯、総合文化体育センターや学校開放、五条川健幸ロード

②いわくら健康マイレージ

ワークライフバランス・働き方改革、食品の栄養表示、路上・屋内禁煙、交通対策、道路、観光などあらゆる部門が関係する。**連携の重要性、全部門に「健幸づくり」の精神を**

現代のヘルスプロモーションの課題：ネット社会、家庭・学校の変化、外国人の増加など